

平成 29 年度 3 月月例会 報告

「学習支援者に求められる視点を考える」

講師：高井 正氏 (立教大学 学校・社会教育講座 特任准教授)



3 月 14 日 (水) の月例会は、足立区に 36 年間勤務され、3 年前まで足立区教育委員会の社会教育・生涯教育現場で活躍されてこられた高井正氏による講演会を行いました。テーマは「学習支援者に求められる視点を考える」で、要点をまとめられた資料とパワーポイントでお話を伺いました。以下が主な要点でした。

・社会教育・生涯学習とは何か・・・「成人が自分自身を育てる営み」である

人はひとりひとり違い、同じことを同じ場で聞いても感じ方、受け止め方はそれぞれで、発想は自由である。それぞれが自らの暮らしを切り開く知恵と力を自らのうちに作り出す営みを身につけ、お互いの認識を深めて尊厳を守り、無知や差別や貧困をなくし、平和な社会を形成していくことが求められる。社会教育は、学ぶ力、学ぶ方法を見だし主体的に学習を組織・展開していけることである。

・社会教育・生涯学習の今日的意義・・・なぜ学ぶのか

変化への対応の不安、判断する必要に迫られる、孤立化の増加、主権者意識の希薄など今日の社会情勢の中で、自分を取り戻すために幅広い仲間づくりが必要であり、主体的に取り組む力を育てるために学ぶことが大切である。

・足立区教育委員会社会教育主事の時のこと

PTA、青少年関係で区民の人たちとたくさん交流し、地域や社会のニーズに応える活動を展開した。その過程で戦略と戦術を学んだ。活動を通して仕事だけではない外とのつながりをたくさん作った。公務員の中だけの仕事では社会的な広がりや生まれにくい。どんどん外に出るべきだと指導してきた。外との付き合いが重要であり成長させてくれる。

・3 年間の取り組みなど

大学の授業・・・授業以外の専門資格取得のための授業、図書館司書、社会教育主事等。

ラウンドテーブルによる学習支援の場への参加、支援のための実践力アップセミナーの開催、昨秋より「学びのクリエイターになる！」の実行委員として通年講座にも関わり、文科省委託事業である学びを通じた地方創生コンファレンス (東京コンファレンス) の実行委員会事務局長も行った。また、社会教育関係誌の執筆・編集、行政組織再編への行動等、社会教育・生涯教育の啓蒙と拡大の活動をしている。

・学習支援者に求められる視点・・・振り返りの視点

学習、福祉、地域づくり等の支援・援助者は実践力を高めることが必須。まず、実践し、実践後は振り返る (省察)、それを書き留める (文書化)、考える (問題意識を持つ)。これを自らと仲間たちとで繰り返すことにより、実践力も高まり、よりよい支援を行うことができるようになる。実践後の振り返りが最も重要である。



一通り話が終わったところでワークシートを配られ、今活動している団体の目的と目標、強みと弱み、また自分個人の役割や強みと弱みなどを書き込み、わたしの望む社会を描きしばらくぶりにさびついた頭を使いました。

最後に高井氏より月例会の前に行われていた講座検討会議の様子を垣間見て、みんな真剣に協議されていて感心したこと、小さなこともいい加減にせず丁寧に活動されていること、主体的に長いこと続けていることなど「楽学の会」をたくさん褒めて頂きました。

終了後の懇親会でも気さくにお話を伺えて有意義なひと時でした。

(ボランティア活動推進部 林 令子)

平成30年度大学塾第1ステージ開催案内

大淵澄夫スケッチ講座 足立の風景再発見

足立の風景の見どころを紹介し、スケッチの手法を学びます。また、実際にセンター近傍にスケッチに出かけ、自分の作品として画用紙に残します。

講師：大淵 澄夫氏 建築イラストレーター
日時：5月8日、15日、22日 毎回 火曜日 午後2時～4時
会場：足立区生涯学習センター 研修室4
講義内容：
第1回 座学：足立の見どころとスケッチのポイント
第2回 風景を描く（センター近傍でスケッチ）
第3回 スケッチと寸評
*雨天の場合は室内での講座

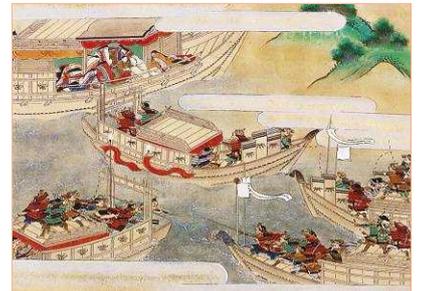


絵巻物を読み解く『平家物語絵巻』

中世には多くの絵巻物が作成されました。当該期は天皇・貴族から武家（平氏・源氏）が力を持つようになり、院（上皇・法皇）による院政が開始され、新しく台頭しつつある武家に対し政治的対応がなされました。

大きな時代変革の中で絵巻物が作成された意義を考えます。今回は近世に作成された絵巻物である『平家物語絵巻』を取り上げ、中世の諸史料によりながら史実に迫ります。

講師：大関 直人氏 歴史研究家
日時：5月13日、20日、27日 毎回 日曜日 午後2時～4時
会場：足立区生涯学習センター 研修室4
講義内容：
第1回 中世の絵巻物について
～絵巻物とは何か、中世に多く作成された理由～
第2回 『平家物語』『平家物語絵巻』の背景
～平氏政権から治承・寿永の内乱期～
第3回 『平家物語絵巻』
～中世の諸史料との対比から見る「虚構と史実」～



平成29年度大学塾第4ステージ開催報告

がんのリスク 予防と生活習慣

3月8日・15日に開催。一回目の当日は、凄く冷たく雨が降っていたので応募者45名の所28名が受講。2回目は晴天に恵まれて37名が受講。

皿沼クリニック院長 藤田亨 講師の講義が始まってすぐに二人一組になってがんについての思いつきを各組にて話し合い、これで一気に受講生もやる気になったと思う。最初のがんの食事療法は分かりやすかったが、がんの予防の薬とかが入ってくると難しく、なかなか理解出来なかったが、講義の内容は興味があり、もう少し生活習慣の話を盛り込んでくれればと思った。がん治療が難しい理由としては、がん細胞の性質、がん幹細胞の治療抵抗性、糖尿病とがんの関係等、やや専門的で難しいところはあったが、身内のがんの病気を抱えている方には良く理解できたと思われる。



また、食事療法については日常生活の一端として参考になった。講座終了後の質疑応答ではかなり深刻な質問もあり良かった。

(荻原芳樹・佐久間 實)

平成29年度 地域教育力を高めるボランティアセミナー 参加報告

テーマ：地域学校協働のためのボランティア活動等の推進体制について



日時：平成30年3月8日（木）・3月9日（金）
主催：国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター

参加者：今回は全国から192名の参加
会場：放送大学東京文京学習センター
趣旨：社会教育実践研究センターにおける地域と学校の連携・協働の推進に係る調査研究の



成果等について周知を図り、研究協議や情報交換等を通して、参加者相互の交流を図る機会とする。

1. 行政説明・・・「地域学校協働活動に関する国の動向と施策」

文科省生涯学習政策局社会教育課 地域学校協働推進室長 西川由香氏

○ 地域学校協働活動の意義・効果について

子供たちへの効果・・・学校・家庭・地域とのつながりが豊富な子供ほど、学力が高い傾向
学校（教員）への効果・・・地域住民が学校を支援することにより、教員が授業や生活指導などに、より力を注ぐことができた。

2. 事例研究・・・テーマ：地域学校協働活動への仕組みづくり

事例報告（1）北海道帯広市学校支援アドバイザー 保前明美氏

テーマ：子どもは地域の宝～みんなで育てよう！地域の宝を～
地域総ぐるみで愛あふれる子育てを！「教育」は「共育」で

事例報告（2）山口県岩国市周南市立德山小学校長 酒匂昌二郎氏 岩国市の取組について
インタビュアー・助言者として当会顧問の興梠寛氏も参加され活発な討議が行われました。

3. グループ協議・・・地域学校協働活動への発展に向けた方策

参加者が4グループに分れ、グループ協議が行われました。

皆様方が学校と地域の連携に正面から取り組んでいる様子が伺われ、良い刺激を頂きました。

4. 平成29年度教育研究公開シンポジウム



調査研究報告：国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部
総括研究官 志々田まなみ氏 地域学校協働活動を推進するために大切にしたい要素 ① 推進体制・環境整備 ② 人材発掘・育成 ③ 普及・啓発、理解促進 ④ 多様な活動、継続的な活動の推進 ⑤ コミュニティ・スクールとの連携

様々な取組みで学校と地域が連携し子供のために活動されている様子を伺うことができました。

<参加者：早坂津夜子、篠原英也（記）>

みんなの広場

四季はみな風あり、風は百病の長なり



優しい春風に穏やかな陽射し、眠くなりやすいこの季節、春の自然条件は“春風”です。「風は万病のもと」といわれますが、「四季はみな風あり、風は百病の長なり」ともいわれているように四季の“風”は私たちの体を痛めることが多いのです。健康で抵抗力があれば春風は心地よいものですが、眠くなるこの季節、居眠りばかりしていると体力がなくなります。抵抗力が衰えてしまうと、風の邪が体内に入り込み病気になります。これが風邪（ふうじゃ）といわれる病気です。風邪は体の下から上に上

がってきますので、喉、鼻、頭などに風邪の症状が出ます。風邪の症状を抑えるには、風邪を体外に出してあげる発散させる必要があります。発散作用のある食物は辛味のある生姜、葱、菘などがあります。また、春は体内の新陳代謝が活発になり勢いよく“気”を発散させる季節でもあるのです。精神的にも気持ちよくなるのびのび開放出来る花見などはおススメです。食べ物では“気”が充分に含まれている食物を摂ることにより風邪を発散させ、次の季節“夏”を上手に迎える準備をしていることに繋がるのです。春は酸味のある食べ物が肝臓に働きかけ、春に変調を起こしやすい肝臓をいたわります。レモン、キウイ、梅、ウド、菜の花、ふきのとう、筍、春菊、ブロッコリーなどがあります。またこの時期、土手を散歩しながら足元に目を向けてみてください。ハコベ、ナズナ、タンポポ、ノビル、ヨモギ、ツクシなどの野草の中に春に摂りたい薬効性に優れている食材を見つけられるかも知れません。アケビの花や若芽、銀杏の若芽、ノカンゾウの若芽なども旬の気が充分に含まれています。“野草の気”を天ぷらで美味しく食べてみてはいかがでしょうか。

(田中桂子 記)

男ボラ粹生き倶楽部 3月イベント 3月17日 落語家 林家 たけ平 師匠に学ぶ ~コミュニケーション術~

今回のイベントでは、ボランティアや地域デビューをしようと思って、いざ参加しても初対面だと緊張してうまく打ち解けることが難しい。そんな皆さんに足立区出身の人気落語家（落語協会 真打）林家たけ平 師匠より人を嘯に引きずり込む ~コミュニケーション術~ 落語家の話術をお聞きしました。

(ボランティア活動推進部)



3月 運営委員会報告 (3月1日)

1. 代表挨拶：報告および提案

- (1) あだち区民大学塾については第4ステージに入り、3月の「がんのリスク 予防と生活習慣」を残すのみとなり、29年度大学塾講座は18講座となり、昨年を上回る受講者となっております。皆様のご協力に感謝申し上げます。
現在30年度後期の講座を検討中です、3月に講座を決定し研修室を申込みます。30年度講座では新規分野講座、また足立区関連講座を多数提供していく予定です。
- (2) NPO設立15周年記念事業を検討しています。1月運営委員会で開催方向が承認されました。本日実行委員会発足を承認頂き皆様の協力で進めていきたいと思っております
- (3) 狭山市の 生涯学習をすすめる市民の会との交流会を3月28日に開催いたします。他のNPO法人の活動状況の情報交換を行い我々の今後の活動に生かしていきたいと思っております。
- (4) 29年度は3月で終了しますので 29年度の事業報告の纏めと30年度の事業計画の検討をお願いし、4月の運営委員会に報告をお願いします。

2. 議事

(1) 情報交換

- ・「実費弁償による事務処理の受託等の再確認について」足立税務署に5年ごとに申請、申請済
- ・さやま生涯学習をすすめる市民の会との交流会 3月28日(水)
新会員研修兼ねた交流会、生学センター見学、10名 13:30～ 研3
- ・29年度大学塾講座実施報告書作成、製本について
総括者：佐々木部長、佐久間氏より 講座担当者は、チラシ・写真・報告書等をPCに入力をお願いします(3/末までに原稿整理)
- ・あだち区民大学塾 運営マニュアル検討委員会から報告 →手直しの上再度報告する

(2) 「NPO設立15周年記念事業」の開催について

実行委員会の発足 実行委員長：小林、 記念冊子発行：金子(長)、広報部員(神戸、糸井、小林)、佐々木、今野、田中(桂)、篠原、林、原田、佐久間、
講演会・祝賀会は後日定める。進捗は毎月の運営委員会に報告。
総会にて予算を決定

(3) 月例会開催について

- ・3月月例会 3/14 「これからの学習支援ボランティアの取り組み」 3:30～ 高井 正准教授
- ・4月予定 キックマン野田工場見学と清水公園お花見 4/10 予定

(4) あだち区民大学塾(検討会議・企画会議・地域協働講座)

- ・「がんのリスク」 3/8 15 研1 無料 現在応募者 41名
- 「日本経済入門」 4/7 14 21 研4 定員30名
- 「平家物語」 4/12 19 26 研4 定員30名

(5) 受託事業について

ナシ

(6) 各部局・PTからの報告および提案(省略)



NPO法人 八王子生涯学習コーディネーター会 会報の紹介

ゆうゆうがくしゅう 悠々楽習 第40号

八王子生涯学習コーディネーター会より会報誌「悠々楽習40号」を送付いただきました。

大学塾事務局のロッカーに保管してありますのでごらんください。

生涯学習センター 講座情報

◎ 講座名：特別展「人体－神秘への挑戦－」 関連 NHK 文化講演会

日時：4月29日 祝日 午後2時～3時30分
対象：16歳以上の方
会場：足立区生涯学習センター4階 講堂
受講料：無料 定員：200名（事前申込先着順）
講師：篠田 謙一氏（国立科学博物館 副館長 兼
人類研究部長）
内容：私たちの体は神秘に満ちています。自らを
生かし、動かすものの仕組みを理解するために、人
類は多くの挑戦を重ねてきました。3月13日（火）
～6月17日（日）国立科学博物館で開催される特
別展「人体－神秘への挑戦－」では、ルネ
サンス期以降の先人たちの努力の歴史と功績を振
り返りながら、人体の構造と機能を解説するととも
に、それが最先端の研究でどのように変わりつつあ
るのかを紹介します。講演会参加者1名につき招待
券を1枚プレゼントします。

◎ 講座名：学びピアコンサート 薫風にアンデスの調べ カルマンタ

日時：5月27日 日曜日 午後2時半～4時半
対象：16歳以上の方
会場：足立区生涯学習センター4階 講堂
受講料：1,000円（一律）定員：200名（事前申込
先着順） 出演：カルマンタ
内容：風かおる5月。ケーナ、サンポーニャ、チ
ャランゴ、ギター、ボンボなどのアンデス音楽の楽
器演奏から心地よい歌声のハーモニーが皐月の風
に乗って流れます。アンデスの風景の前で踊りまし
ょう！「みんなで歌いましょうコーナー」もありま
す。

申し込みは、生涯学習センターへ
電話（03-5813-3730）または直接窓口へ

5月「総会・月例会」のご案内

楽学の会 平成30年通常総会を開催します。
総会后、引き続き月例会を行います。

日時：平成30年5月18日（金）午後3時半～5時
場所：生涯学習センター・研修室4
議題：

- 第1号議案 平成30年通常総会議長選出の件
- 第2号議案 " 議事録署名人選出の件
- 第3号議案 平成29年度事業報告の件
- 第4号議案 " 活動報告の件
- 第5号議案 " 監査報告の件
- 第6号議案 平成30年度事業計画の件
- 第7号議案 " 予算の件
- 第8号議案 理事・監事選任の件
- 第9号議案 法改正に伴う定款変更の件

欠席の場合には委任状に記名・押印の上 事務局提出

（事務局・ボランティア活動推進部）

楽学インフォメーション ★会合のお知らせ★

- ◎ 運営委員会
4月2日（月）午後3時～5時 研修室4
- ◎ 月例会
4月10日（火）午前9時～午後5時 現地学習
- ◎ 学習支援部
4月11日（水）午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部
4月6日（金）午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 広報部
4月5日（木）午後2時～4時 メール会議
4月23日（月）午後2時～4時 ワークルーム
4月25日（水）午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 事務局
4月3日（火）午後2時～4時 ワークルーム
4月17日（火）午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 大学塾講座検討会議
4月16日（月）午後2時～3時半 研修室4
- ◎ 大学塾講座企画会議
4月2日（月）午後1時半～3時 研修室4
- ◎ 生涯学習センター 休館日
4月9日（月）

★お問い合わせ＆ご意見等

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局 江川武男 電話：090-3105-8140
E-Mail：takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp
- ◎ 「ホームページ」のご案内とお問合せ
<http://gakugaku.main.jp/>
広報部 神戸 明 電話：03-3606-0058
E-Mail：a-kambe@jcom.zaq.ne.jp

編集後記

寒かったり暖かかったりの三寒四温、日毎に春
の色濃さが、街なかや公園などの桜の開花で感じ
られるようになりました。お花見のシーズン到
来、心も和みます。足立区の木は桜です。見所が
区内のあちこちにあります。花めぐりバスに乗っ
て桜探訪に出かけてみませんか。



（広報部）